

学校教育目標

夢・命・絆

夢 に向かっていく生徒
命 を大切にする生徒
絆 を互いに深め合う生徒



須和田が丘

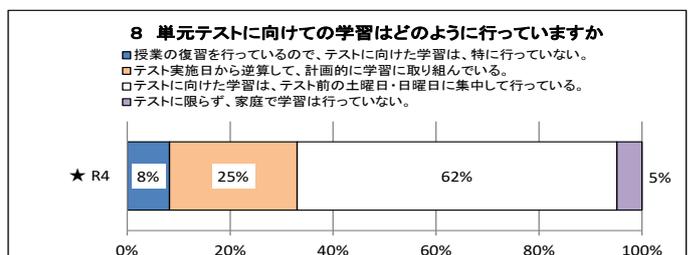
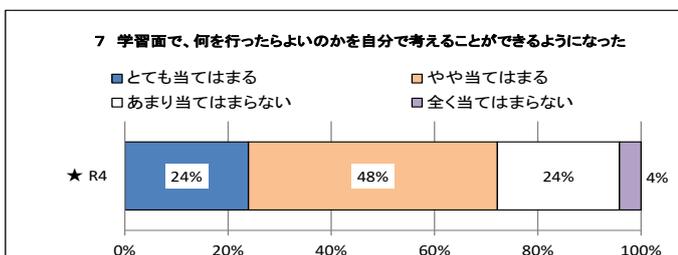
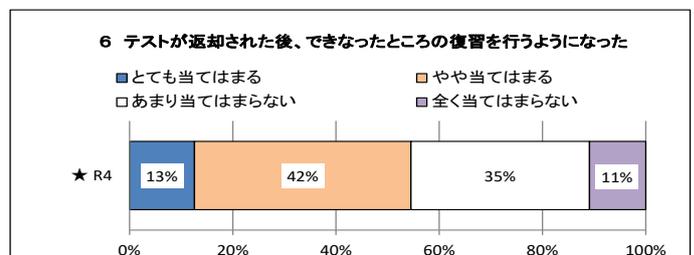
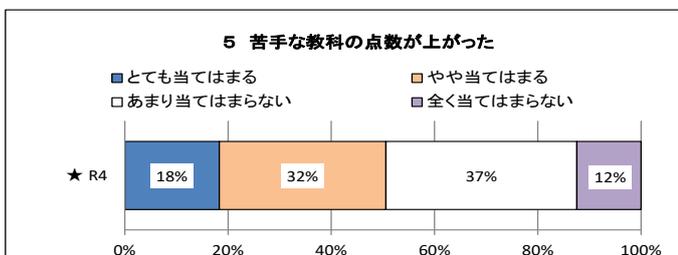
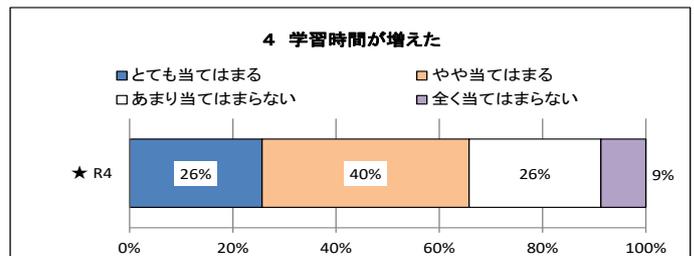
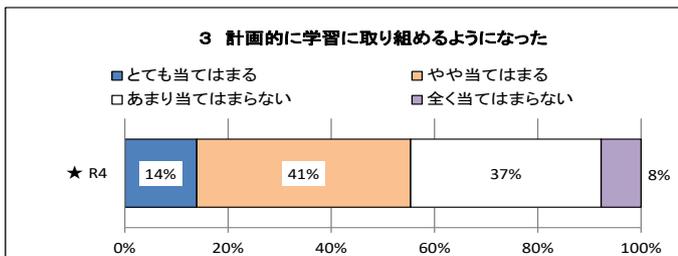
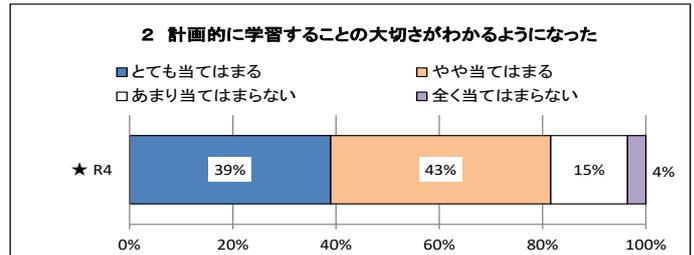
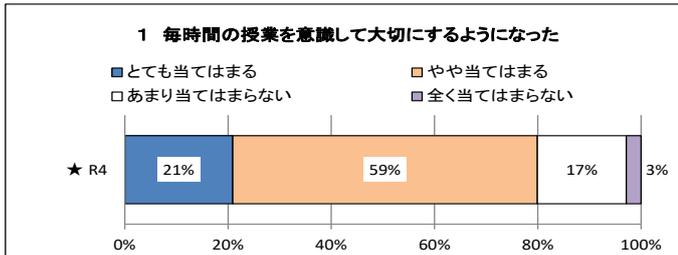
令和4年度
学校だより No. 33
令和4年12月12日

市川市立第二中学校
校長 石田 清彦

ホームページ <http://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

単元テストに関する生徒の意識調査について

定期テストから単元テストへ移行して、約半年が経った10月下旬に、単元テストに関する生徒の意識調査を行いました。結果は以下の通りです。



単元テストへの移行によって、約8割の生徒が、「毎時間の授業を意識して大切にするようになった」「計画的に学習することの大切さがわかるようになった」と答え、7割の生徒が「学習面で、何を行ったらよいのかを自分で考えることができるようになった」と回答しています。このことから、学びに向かおうとする意識は確実に高まっていると考えます。また、6割以上の生徒が「学習時間が増えた」と回答していることや、約半数の生徒が「苦手な教科の点数が上がった」「テストが返却された後、できなかったところの復習を行うようになった」と回答しており、好ましい変容が見られています。

しかし実際に「計画的に学習に取り組めるようになった」と回答する生徒は半数程度であり、6割の生徒は「テスト前の土曜日・日曜日に集中して勉強している」と回答していることから、引き続き、学習習慣の定着と、自分で学習計画を立て、スケジュール管理をしながら学習を進める自己調整力の向上に取り組んでまいりたいと考えています。